

凡例		
⊗	1~2F通し柱	105 × 105
⊠	管柱	105 × 105
柱頭 柱脚	筋違	45 × 90
柱頭 柱脚	筋違 タスキ	45 × 90

※外周廻りは全て構造用合板t=9mm貼とする。

接合部凡例

告示記号	仕様	(KN) 必要耐力
(レ) C	短ほぞ差し、かすがい打ち	0.0
(ろ) CP-L	L字形かど金物(釘:CN65x5)	3.4
	CP-T	T字形かど金物(釘:CN65x5)
(は) (に)	山形プレート金物(釘:CN90x8)	5.1
	SB-E2	羽子板*1φ12mm
(に)	短冊金物	7.5
(ま) (へ)	SB-E	羽子板*1φ12mm (釘:スクリュー釘50)
	HD-10	10KN用引寄せ金物
(と)	HD-15	15KN用引寄せ金物
(ち)	HD-20	20KN用引寄せ金物
(り)	HD-25	25KN用引寄せ金物
(ぬ)	HD-30	30KN用引寄せ金物
(る)	HD-35	35KN用引寄せ金物
	HD-60	高耐力ホルダ'ウHi

※金物の表記 () 付きは柱頭金物を示す

※上記の金物同等品以上を使用する事。

筋違 (45 × 90) 端部の接合仕様

鋼板添え板t=2.3mmを筋違に対してボルトφ12及び

スクリュー釘φ4.5L50を7本平打ち、柱及び横架材に対して

スクリュー釘φ4.5L50を5本平打ち。筋違金物BP-2同等品

胴差と通し柱の接合仕様

一通し柱の片側に胴差がくる場合

胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、羽子板*1φ、

かね折金物又は同等以上の仕口。

一通し柱の両側に胴差がくる場合

胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、短冊金物

又は、同等以上の仕口で胴差相互を緊結。

